情報公開文書　（単施設用）

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17184
課題名	大腿骨セメントステムの髄腔占拠率の機種別比較
研究期間	西暦 2017 年 12 月 20 日　～2022 年 11 月 30 日
研究の対象	2015 年 1 月～2017 年 8 月に当院でナカシマメディカル社製 4-U ステムまたは Zimmer 社製 CMK ステムによる人工股関節置換術を受けられた患者
利用する試料・情報の種類	☑診療情報（詳細：患者情報（年齢、性別、診断名、治療内容、使用機種と使用サイズなど）の他、画像情報（術前・後 X 線写真、術前・後 CT 写真など） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） ☐血液 ☐その他（　　）
研究の意義、目的	人工股関節に使用する大腿骨側コンポーネントにおいて、どのように骨に固定したら最も長もちするのかは非常に重要な要素で有り、一般にはセメント固定とセメントを使用しない固定に分かれる。また、セメント固定の中にも固定の仕方は幾つかあり、どれが最も優れているかは正解がない。日本人の髄腔形態に最適化するよう当科で開発した 4－U ステムは、骨の中でできるだけ大きく占拠し、セメントが薄くなったとしても、挿入時の圧が高まることで長期成績を期待する方式を採用している。本研究の目的は、実際に使用された 4 －U ステムが他の機種と比べて、占拠率が高いのかどうかを調べることである。
研究の方法	人工股関節置換術を受けられた患者さんの手術前・後のレントゲン写真や CT 画像から、骨の穴（髄腔）に占めるステムの面積の割合を計算し、機種ごとの特徴や占拠率の違いを明確にさせる。また、性別や年齢層、術前の病気によって違いが出るかどうかなどを検討する。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 **照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先**： 078-8510　旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1　旭川医科大学整形外科学講座 ☎　0166-68-2512　FAX　0166-68-2519 **研究責任者**：整形外科学講座　　佐藤　達也